



平成29年1月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年6月8日 東

上場会社名 株式会社東京楽天地 上場取引所
 コード番号 8842 URL <http://www.rakutenchi.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 中川 敬
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 岡村 一 (TEL) 03(3631)5195
 四半期報告書提出予定日 平成28年6月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年1月期第1四半期の連結業績 (平成28年2月1日～平成28年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年1月期第1四半期	2,627	20.0	300	△22.4	233	△43.7	136	△43.5
28年1月期第1四半期	2,189	△4.3	386	△4.1	415	5.4	241	7.9

(注) 包括利益 29年1月期第1四半期 △127百万円(△120.6%) 28年1月期第1四半期 620百万円(828.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年1月期第1四半期	2.28	—
28年1月期第1四半期	4.03	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年1月期第1四半期	42,599	28,092	65.9	469.55
28年1月期	43,474	28,400	65.3	474.68

(参考) 自己資本 29年1月期第1四半期 28,092百万円 28年1月期 28,400百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年1月期	—	3.00	—	3.00	6.00
29年1月期	—	—	—	—	—
29年1月期(予想)	—	3.00	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年1月期の連結業績予想 (平成28年2月1日～平成29年1月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,200	15.9	650	△17.1	650	△25.0	400	△24.6	6.69
通期	10,500	12.1	1,500	40.9	1,500	25.6	900	10.4	15.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年1月期1Q	65,112,187株	28年1月期	65,112,187株
② 期末自己株式数	29年1月期1Q	5,282,432株	28年1月期	5,281,722株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年1月期1Q	59,830,162株	28年1月期1Q	59,836,557株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表の四半期レビューは終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策や日銀の金融緩和政策の効果を背景に、企業収益や雇用情勢は改善傾向となり、景気は緩やかな回復基調が続いております。しかしながら、個人消費は消費マインドに足踏みがみられ、新興国をはじめとした海外経済の下振れリスクなどもあり、先行きは不透明な状況で推移いたしました。

このような状況下にあつて、売上高は2,627百万円と前年同四半期に比べ438百万円(20.0%)の増収となり、営業利益は300百万円と前年同四半期に比べ86百万円(22.4%)の減益、経常利益は233百万円と前年同四半期に比べ181百万円(43.7%)の減益、親会社株主に帰属する四半期純利益は136百万円と前年同四半期に比べ104百万円(43.5%)の減益となりました。

セグメントの業績を示すと次のとおりであります。

(不動産賃貸関連事業)

不動産賃貸事業では、主力の楽天地ビルにおきまして、本年2月より2階レストラン街の改装工事を行い、4月28日にリニューアルオープンし、1階の既存飲食店を含めたエリアを「おなかスクエア」として一体運営することで、テナントおよび顧客の満足度向上をはかりました。また、昨年12月に開業した東京楽天地浅草ビルが期首から売上高に寄与し、前年同四半期を上回りました。

ビルメンテナンス事業では、厳しい入札競争のもと意欲的な営業活動に努め、売上高は前年同四半期を上回りました。

以上の結果、不動産賃貸関連事業の売上高は1,580百万円と前年同四半期に比べ317百万円(25.2%)の増収となり、セグメント利益は東京楽天地浅草ビルの減価償却費および宣伝費の増加などにより、583百万円と前年同四半期に比べ50百万円(7.9%)の減益となりました。

(娯楽サービス関連事業)

映画興行事業では、「名探偵コナン 純黒の悪夢(ナイトメア)」「映画 ドラえもん 新・のび太の日本誕生」「オデッセイ」等の作品が好稼働し、売上高は前年同四半期を上回りました。

温浴事業では、「天然温泉 楽天地スパ」および「楽天地天然温泉 法典の湯」は引き続きお客様の支持をいただき、売上高は前年同四半期並みとなりました。

フットサル事業では、「楽天地フットサルコート 錦糸町」は近隣店との競争激化により、「楽天地フットサルコート 調布」は大会収入が伸び悩んだことから、売上高は前年同四半期を下回りました。

以上の結果、娯楽サービス関連事業の売上高は702百万円と前年同四半期に比べ2百万円(0.4%)の増収となり、セグメント利益は54百万円と前年同四半期に比べ8百万円(17.3%)の増益となりました。

(飲食・販売事業)

飲食事業では、「ドトールコーヒーショップ シャポー本八幡店」が建物の耐震工事のため休業中であること、および本年3月22日にリニューアルオープンした「ドトールコーヒーショップ 錦糸町店」の改装工事に伴う22日間の休業があったことから、売上高は前年同四半期を下回りました。なお、「ドトールコーヒーショップ シャポー本八幡店」は本年9月に再オープンを予定しております。

販売事業では、ダービービルにおける自動販売機設置契約の終了がありましたが、東京楽天地浅草ビル内にオープンした商業施設「まるごとにつぼん」の直営店が期首から売上高に寄与し、前年同四半期を上回りました。

以上の結果、飲食・販売事業の売上高は344百万円と前年同四半期に比べ117百万円(52.1%)の増収となりましたが、商業施設「まるごとにつぼん」に係る減価償却費などの増加により、セグメント損失は30百万円(前年同四半期はセグメント利益10百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第1四半期連結会計期間末における総資産は42,599百万円と前連結会計年度末に比べ874百万円の減少となりました。これは主として、借入金の返済により現金及び預金が減少したこと、および保有株式の株価変動により投資有価証券が減少したことによるものであります。

② 負債

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は14,506百万円と前連結会計年度末に比べ566百万円の減少となりました。これは主として、借入金を返済したこと、保有株式の含み益に係るその他の固定負債(繰延税金負債)が減少したこと、および税金の支払いにより未払法人税等が減少したことによるものであります。

③ 純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は28,092百万円と前連結会計年度末に比べ307百万円の減少となりました。これは主として、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したこと、その他有価証券評価差額金が減少したこと、および配当金を支払ったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成28年3月9日発表の数値を変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)および「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表および連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,404,210	3,250,095
売掛金	294,483	289,873
リース投資資産	737,343	736,318
有価証券	100,000	100,000
その他	932,072	314,171
貸倒引当金	△54	△58
流動資産合計	5,468,055	4,690,400
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	23,507,148	23,727,359
土地	5,653,575	5,653,575
その他(純額)	1,316,099	1,441,672
有形固定資産合計	30,476,823	30,822,607
無形固定資産	322,330	318,823
投資その他の資産		
投資有価証券	6,501,985	6,085,629
その他	704,935	682,230
投資その他の資産合計	7,206,920	6,767,859
固定資産合計	38,006,074	37,909,290
資産合計	43,474,129	42,599,691

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年4月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	422,435	416,310
1年内返済予定の長期借入金	990,000	990,000
未払法人税等	217,064	89,810
賞与引当金	44,536	101,881
その他	2,262,341	2,199,669
流動負債合計	3,936,378	3,797,671
固定負債		
長期借入金	5,680,000	5,432,500
役員退職慰労引当金	106,320	85,701
退職給付に係る負債	590,834	606,566
資産除去債務	552,156	554,561
受入保証金	3,610,536	3,614,329
その他	597,599	415,563
固定負債合計	11,137,447	10,709,221
負債合計	15,073,826	14,506,893
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,046,035	3,046,035
資本剰余金	3,378,537	3,378,537
利益剰余金	22,115,114	22,071,898
自己株式	△1,984,614	△1,984,955
株主資本合計	26,555,072	26,511,515
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,845,230	1,581,282
その他の包括利益累計額合計	1,845,230	1,581,282
純資産合計	28,400,303	28,092,798
負債純資産合計	43,474,129	42,599,691

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年2月1日 至平成27年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年2月1日 至平成28年4月30日)
売上高	2,189,408	2,627,443
売上原価	1,507,787	1,958,367
売上総利益	681,621	669,075
販売費及び一般管理費	294,808	369,007
営業利益	386,813	300,068
営業外収益		
受取利息	205	518
受取配当金	966	1,192
持分法による投資利益	33,754	28,471
回数券退蔵益	4,789	6,372
その他	428	4,294
営業外収益合計	40,144	40,850
営業外費用		
支払利息	10,533	13,647
固定資産除却損	814	90,254
その他	15	3,093
営業外費用合計	11,363	106,995
経常利益	415,593	233,922
税金等調整前四半期純利益	415,593	233,922
法人税等	174,531	97,647
四半期純利益	241,062	136,275
親会社株主に帰属する四半期純利益	241,062	136,275

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年2月1日 至平成27年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年2月1日 至平成28年4月30日)
四半期純利益	241,062	136,275
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	379,549	△263,947
その他の包括利益合計	379,549	△263,947
四半期包括利益	620,611	△127,672
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	620,611	△127,672
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成27年2月1日 至 平成27年4月30日)

1 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

	報告セグメント				調整額 (千円) (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注2)
	不動産賃貸 関連事業 (千円)	娯楽サービス 関連事業 (千円)	飲食・販売 事業 (千円)	計 (千円)		
売上高						
外部顧客への売上高	1,262,995	700,156	226,256	2,189,408	—	2,189,408
セグメント間の内部 売上高または振替高	95,528	92	237	95,858	△95,858	—
計	1,358,524	700,248	226,494	2,285,267	△95,858	2,189,408
セグメント利益	633,334	46,492	10,809	690,635	△303,822	386,813

(注) 1. セグメント利益の調整額△303,822千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△294,808千円、セグメント間取引消去△9,014千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成28年2月1日 至 平成28年4月30日)

1 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

	報告セグメント				調整額 (千円) (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注2)
	不動産賃貸 関連事業 (千円)	娯楽サービス 関連事業 (千円)	飲食・販売 事業 (千円)	計 (千円)		
売上高						
外部顧客への売上高	1,580,640	702,716	344,086	2,627,443	—	2,627,443
セグメント間の内部 売上高または振替高	94,198	12	323	94,534	△94,534	—
計	1,674,838	702,728	344,410	2,721,977	△94,534	2,627,443
セグメント利益または損失(△)	583,321	54,540	△30,560	607,301	△307,233	300,068

(注) 1. セグメント利益または損失の調整額△307,233千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△318,316千円、セグメント間取引消去11,082千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益または損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。